

【図書館／関連団体／その他関連事業】

●かわだ文庫

*かわだ文庫 とは

河和田地区において、良質な図書資料の読書活動を通じて心豊かな子どもたちの発育を支援することを目的として、1993（平成5）年、地区内の母親を中心に発足しました。

図書の貸出、読み聞かせ、お楽しみ会、地域資源を活用したものづくりなどを通しての図書紹介、読書環境づくりの講演会の開催など多面的な活動を行っています。

河和田公民館内の文庫の部屋は、子どもたちが読書に親しむ場であるだけでなく、母親への育児支援やコミュニケーションの場でもあり、世代を超えて利用される交流の場となっています。



土曜の利用のようす
かわだ文庫の部屋にて

主な活動

- ・かわだ文庫の部屋での図書の貸出・返却、書棚の整理
- ・河和田小学校での読み聞かせ
- ・お楽しみ会
- ・地区内外の保育園、児童センターなどでの読み聞かせ
- ・文庫新聞発行
- ・おはなし会

毎週土曜
年30回
年4回
随時
不定期
年4回



市の東端にある河和田地区在住で図書館への来館が困難な人にとっては、図書館分館としての機能も果たしています。

また平成22年、長年の活動が認められ、「読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰」を受けました。



「お楽しみ会」のようす

図書館では、かわだ文庫蔵書のデータ登録、図書館ハンディ端末を利用した蔵書の貸出・返却データ管理、年1回の図書館蔵書点検にあわせての蔵書の点検、選書・配架などへの助言、図書館蔵書の長期貸出などの協力を行っています。

●さばえっこ図書ボランティアネットワーク

*さばえっこ図書ボランティアネットワーク とは



学校と地域が協力して学校図書館ボランティア活動を行うことで、子どもが本に親しむ環境を整備し、子どもの健全な育成を図ることを目的として平成20年3月に設立されました。

学校での読み聞かせボランティアや、読書を通して心豊かに育ててほしいと願う地域の大人が、情報交換や学習会など校区の枠を越えて子どもの読書推進活動に取り組んでいます。

- ・役員会 年10回
- ・研修会 年4回
- ・講演会 年2回
- ・広報誌発行 年3～4回

上記の活動を役員を中心に行い、市内の学校図書館読み聞かせボランティアの交流や研鑽などに寄与しています。

図書館では、さばえっこ図書ボランティアネットワークの研修会・講演会への会場提供、研修会での講師派遣、学校読み聞かせボランティアへの図書貸出期間を団体同様30日とするなど、読み聞かせ技術向上やボランティア交流への協力を行っています。

★被災地へ
絵本を届けたい!

「さばえから福島の子ども達に『絵本を届けよう』」活動

2011年3月に発生した東日本大震災後、さばえっこ図書ボランティアネットワークとしても何か支援をしたいと、市民からの本の寄付を募りました。

図書館が窓口となり、みなさまからの本をお預かりし大切に保管。図書館職員も一緒に約4000冊の箱詰めなどの準備を行いました。講演会講師をしていただいた水戸昇氏（水戸昇教育相談所所長・「大玉畑の学校」主宰）を通して福島のみなさんにお届けすることになっています。

●夢みらい館さばえへの図書貸出

図書館では、夢みらい館さばえに奇数月第2金曜に一般向け170冊・児童向け30冊、計200冊の図書を貸出しています。

貸出図書は、一覧データにより夢みらい館さばえが管理・運用しています。夢みらい館さばえ来館者の閲覧や近隣在住の高齢者の利用があり、図書館への来館が困難な人々への読書機会の提供に寄与しています。

